

会議録

会議の名称	令和7年度第6回西東京市立保谷第一小学校建替協議会
開催日時	令和7年12月11日(木曜日)午前10時から
開催場所	防災センター6階 講座室2
出席者	<p>【委員】</p> <p>原会長、高橋副会長、吉村委員、中野委員、阿部委員、 笹森委員、牛村委員、倉内委員、伊藤委員、藤江委員 (欠席) 稲澤委員、児玉委員</p> <p>【事務局】</p> <p>飯島副参与兼教育企画課長、鈴木教育企画課企画調整係長 中屋教育企画課企画調整係主査、浅水教育企画課企画調整係主任 関澤教育企画課企画調整係主任、木藤教育企画課企画調整係主事 佐藤公共施設マネジメント課長、稲村公共施設マネジメント課長補佐 大内地域学習推進課長</p> <p>【傍聴人】</p> <p>0人</p>
議題	<p>議題1 会議録について</p> <p>議題2 将来像・建替コンセプトについて</p> <p>議題3 複合化について</p> <p>議題4 地域利用のあり方について</p> <p>議題5 施設内のフロア配置・ゾーニングについて</p> <p>議題6 その他</p>
会議資料の名称	<p>資料1 保谷第一小学校の将来像・建替コンセプト(案)について</p> <p>資料2 保谷第一小学校複合化等の方向性</p> <p>資料3 地域利用のあり方について</p> <p>資料4 施設内のフロア配置・ゾーニングについて</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p><開会></p> <p>議題1 第4回、第5回会議の会議録について</p> <p>第4回、第5回会議の会議録内容について、各委員に異議がないことを確認し、承認。</p> <p>議題2 将来像・建替コンセプトについて</p> <p>○事務局</p> <p>(資料1について説明)</p> <p>将来像については、これまでのグループワークで「農」などのキーワードが出てきていた。事務局では、そのような地域性を、文言として入れることも考えている。このことについてもご意見をいただきたい。</p> <p>○会長</p> <p>事務局より説明があった。各委員より意見・質問等を伺う。</p>	

○副会長

「農」という地域性の要素は、コンセプトを図示したイメージの中に農園や野菜販売所として生かされている。追記するならば、建替えのコンセプト2「地域とともにある学校」の説明の中に、「農業豊かなこの地域の特性を生かし地域の課題に取り組みながら～」といった言葉を入れることなども考えられる。

いずれにしても、この地域は農家や地域の方々が、保谷第一小学校をつくり、育ててきたという意識が非常に高い地域であると認識している。

○事務局

「農」を地域の特性という言葉に置き換えて入れることも考えていたため、いただいたご意見を踏まえ検討させていただく。

○副会長

コンセプト2の最後の文章で「～地域の課題に取り組みながら～」とあるが、課題という言葉が少し否定的に捉えられる可能性があるため、「～地域の良さを生かしながら学びを深める共創の場」の方がコンセプトとしては良いと感じる。

○事務局

先ほどのご意見と併せて検討する。

○委員

建替えのコンセプト4「みらいの学びをサポートする学校」に不登校児童に関する内容が含まれているが、コンセプト1.「子どもたちが安心して学び遊べる学校」に入るイメージがある。すべての子どもが自分の学びを実現することができ、多様な子どもにとっての居場所になるというのが、子どもたちが安心して学び遊べる学校のイメージではないかと考える。未来の学びをサポートするというのは、新しい場所で将来に繋がっていくような学びのあり方のイメージがある。例えば、学校教育の新しいあり方や文部科学省で議論しているギフテッドの子どもへの支援、学びの多様性という観点からフルインクルージョンの視点を入れるなど、コンセプト4に含めたのには何か意図があるのか。

○事務局

学びのサポートという意味で、これまで市として不登校児童等に向けた取組を行ってきた。今後もその取組を前進させる意味でコンセプト4へ記載させていただいた。

一方で根本的には「誰もが安心して学べる」ことへ帰属することにもなるため、ご意見を踏まえ、コンセプト1への記載も検討していきたい。

○委員

新しい学校は、全体的に明るい学校になるように感じる。コンセプト4の「不登校児童」の文言は「学校が苦手な児童」などに書き換えた方がよいと感じる。

○事務局

言葉の使い方については、教育計画に沿った言葉を使用しているが、より分かりやす

く親しみやすい言葉にしていきたいと考えているため、ご意見を踏まえ表現を検討していく。

○委員

コンセプトは今後どのように利用されるのか。地域向けの説明に使用するのか。市の内部資料にとどまるのかを伺う。

○事務局

本協議会から教育長へ報告として提言いただいた後に、事務局で基本構想・基本計画の案を作成する。その基本構想・基本計画の案について、パブリックコメントを実施し、広く市民の皆様から意見を聞く予定である。

議題３ 複合化について

○事務局

(資料２について説明)

○会長

事務局より、複合化について説明があった。各委員より意見・質問等を伺う。

○委員

学童クラブについて、下保谷学童クラブを保谷第一小学校に統合しなければならない積極的な理由はあるか。

○事務局

児童の安全・安心に通える環境づくりのため、小学校内に整備するという公共施設再編計画の考え方にに基づき、今回下保谷学童クラブと保谷第一学童クラブを統合した学童クラブを保谷第一小学校に設ける。

現在、下保谷学童クラブとして使用しているところも、引き続き子どもたち等が利用できる施設としていくため、その場所が使用できなくなるわけではない。

○委員

学校の外に出て移動せずに、学校内で学童クラブを利用できるようにするためという認識で良いか。

○事務局

基本的にはそのような認識である。

議題４ 地域利用のあり方について

○事務局

(資料３について説明)

○会長

事務局より、地域利用のあり方について説明があった。各委員より意見・質問等を伺

う。

○委員

学校施設の地域利用を進めていくことは良いと考える。図工室や技術室が「△（地域利用を進めにくい）」となっているのは専用の工具や備品があるからという認識でよいのか。

○事務局

△マークで表記している特別教室については、地域利用のための課題に対する基準に当てはめて判断している。特に技術室などは、専用の工具や備品を管理しているという観点からも、△マークで表記している。ただし、地域の方からの利用希望を実現していくための対応方法などは、様々な可能性があると考えている。

○委員

実際のニーズは定かではないが、一般の住宅には作業場がないため、作業スペースとして開放できると良いと思う。

学校図書館の開放に対して前向きなことは素晴らしいと思う。今までいろいろな例を見てきたが、動線を分けることにフォーカスしすぎるあまり、複雑すぎる動線や、空間を完全に仕切ってしまうケースなど、地域開放の趣旨に合わないものもあった。そのため、地域開放する意義を損なわないように検討していただきたい。

○事務局

図工室は、工房のように地域の方が集い、ワークショップ等をする空間にすることも考えられる。

学校図書館も地域コミュニティの拠点にすることが地域開放の目的なので、ご意見いただいた部分に配慮、工夫し考えていきたい。

○委員

避難所運営協議会のマニュアルを見直し、高齢者の方、大人数で過ごすことが困難な方、身体的な障害がある方等に配慮し、小さい教室で過ごしてもらうように変更した。保谷第一小学校は、市内に6か所ある医療救護所のうちの一つに指定されており、11月に実施した訓練ではかなりのスペースを要した。校舎1階の教室は震災・緊急時のために必要とあるが、どのように想定しているのか。

※議題5の資料説明時に回答

○委員

図工室や理科室なども夏休み中には授業準備をしていないため、地域の子どもたちが学校で科学的な探究やものづくりをしたり、大人と子どもが一緒に取り組んだりすることもできると考えられる。地域コミュニティの醸成や生涯学習の推進を前提としているのであれば、資料の表記は「△」になっているが、できれば積極的・前向きに利用していけるような仕組みづくりが必要と考える。

児童・生徒の情報の保護について、資料3「1 特別教室の地域利用について調査の結果」に記載のある内容は、保谷第一小学校固有の問題ではなく、一般的な問題との認識でよいのか。

児童・生徒の名簿が壁に貼ってある状況は確かに望ましくないが、自身の作品が掲示されることは子どもからすれば誇らしいことでもある。教育活動では、児童・生徒の優れた作品をみんなで共有していくことは日常的に行われていることである。地域利用をするために掲示をしなくなるということは、本末転倒になるため、そこに影響が出ないようにしていただきたい。

また、作品や作者の情報自体を機密性の高いものとするすることで、地域利用がしづらくなならないよう検討する必要があると考える。

作品を作った子どものことを知らなくても、作者の名前があることで誰が作ったのかということが具体的に現れる。そうすることで、先生が見本で作ったものや、有名な人の作品を飾ってあるということではなく、保谷第一小学校の子どもが作ったものがそこにあるということになる。特に今回のコンセプトは「地域とともに子どもを育んでいく」ということなので、地域の人もその作品を見て、「保谷第一小学校の子どもたちの教育の成果がこういう作品として現れているものだ」という場面に接すること自体は必ずしも避けるべきものではないと思う。

ただし、個人情報保護も重要であり、そのバランスを取りながら、子どもや地域の人々が利用しやすい仕組みを検討する必要がある。

○事務局

「1 特別教室の地域利用について調査の結果」については、お見込みのとおりである。

個人情報保護の観点もあるが、地域の方に学校の活動を知っていただくことがコミュニティの中心になることもあるので、その部分は工夫することで解決できると考えている。

○副会長

図工室を貸し出すことができればいいとは思いますが、子どもたちの作成途中の作品が保管されている場合が多いので、それらが自由に触れられるようになってしまうと、貸出は難しいと感じる。そういったことを避けるために、作成途中の作品を保管するようなスペースが準備室とは別にあれば、問題は解決できるかもしれない。

もう一つの図工室の問題点は、糸鋸や工作機械などを授業で使いやすくするため、使いやすい場所に配置されていることである。刃などの保管場所は別にあるが、機械自体は触れられるようになっているので、貸出時に怪我や事故を起こさないための工夫や検討が必要である。ただ、工夫をすれば可能な部分もあるので、図工専科の教員と相談をしながら検討していけるとよいと思う。

子どもの作品について個人情報保護の観点で問題は出てくるが、地域利用のための開放を考えるとときには、その動線上にギャラリー要素のあるスペース（昇降口やピロティなど）を作り、本人や保護者の承諾を得て作品を飾ることで、地域の人々に積極的に作品を共有できる仕組みがあると良い。

また、地域利用の進めやすさは、学期の期間中と長期休業期間中で変わってくるため、それぞれの期間での地域利用の進めやすさを整理していけるとよいと感じた。

○事務局

地域利用に関する具体的な工夫や、資料の表現などは、ご意見を踏まえて検討していく。

○事務局

複合施設については先進事例なども研究しながら、積極的・前向きに進められるよう工夫していく。

議題5 施設内のフロア配置・ゾーニングについて

○事務局

(資料4について説明)

※資料説明の際、議題4であがった委員の質問に対して回答をおこなった。

先ほど委員から、震災・緊急時の1階の教室の利用はどのように想定しているのかというご質問があったが、体育館や多目的スペースだけの活用では不足する可能性があることは認識している。

これまで他自治体の学校視察に行った際、体育館だけでなく、その他の特別教室や普通教室も避難時に使用できるようになっている事例を確認した。教室のネームプレートには地域の防災団体等の名前も記載されており、避難時にどの団体がどの教室を使用するかが示されていた。今後、そういった取組みも考えられるので、危機管理担当部署とも調整を図りながら検討していく。

○会長

事務局より、施設内のフロア配置・ゾーニングについて説明があった。各委員より意見・質問等を伺う。

○委員

28番のPTA室と学校施設開放運営協議会管理室が一部屋となっているが、同じ部屋に二つの役割を設けるということか。

○事務局

現時点ではPTAと学校施設開放運営協議会で部屋を共用できないかと考えている。

○委員

現状、3月から10月はほぼ毎日校庭開放をしており、学校施設開放運営協議会管理室を使用している。また11月から12月は水曜日と土日に教室を使っている。その他の団体も印刷や事務的な業務で使うことがある。PTAも業務や会議があるので、利用するタイミングが重なった場合、共同利用は難しいと感じる。プリンターなどの機材等を共有できれば有難いが、インク代などの事務費も分けられているので、そのあたりの対応も懸念材料である。どうしても教室が足りない場合は、PTAと共有で使用するしかないと思うが、それぞれで保管しているものもあるので、現時点では部屋を分けてほしい。

また今後、学校施設開放運営協議会の活動を民営化していく話も聞いたが、どのように進めていくのか。

○事務局

質問いただいた内容は事務局でお預かりさせていただき、検討していく。

○副会長

先ほど（議題４の際に）委員から質問があった避難所の考え方について、災害時には複合施設の集会所、相談窓口・交流スペースが、体育館と併せて活用できると考える。相談窓口があれば市の職員もいることが可能なため、平時は相談窓口・交流スペース、災害時には災害の対応拠点にもなる。そういった活用を想定し、防災備蓄倉庫の配置も考えられていれば、初動対応がスムーズになると思う。教育活動の部分は大事にしなければならないが、保谷第一小学校の今後のあり方を考えたときに、複合施設をどのように作っていくかが大事になってくる。

学校施設開放運営協議会管理室は管理諸室に含まれているが、体育館や校庭へのアプローチを考えると複合施設と並べて配置しても良いと思う。

また、ＰＴＡ室と学校施設開放運営協議会管理室の部屋は分けたほうがよいと考えている。今後、ゾーニングなどの段階で検討していければよいと考える。

特別支援教室の拠点校としての機能が他校に移った場合は、職員室（特別支援教室）は空室になるという考えでよいか。

○事務局

災害時の複合施設部分の活用については、市長部局と今後調整をしていく。

職員室（特別支援教室）に関してはお見込みのとおりである。

○委員

体育館が２階に配置される場合、防災備蓄倉庫も２階に設置されるのか。

○事務局

物資の運び込みやすさなども含めて検討している。

○委員

避難生活が長期にわたる場合、２階への物資の運搬は大変であるため、体育館は１階に配置していただきたい。

○会長

エレベーターは建物で何機設置する想定か。

○事務局

現在、学校用に１台、地域用に１台を設置する想定でいるが、最終的な台数は、今後決めていく予定である。

○委員

家庭科室は地域で使いやすくするために、１階に設置してほしい。

また、ＰＴＡ室には個人情報が含まれる資料も保管されているため、学校施設開放運営協議会管理室とは分けて部屋を設けた方がよいと考える。

○事務局

ご意見を踏まえて検討していく。

○委員

整備諸室等の相関図で、特別支援学級が隔離されているように見えるため、普通教室や多目的教室と同じカテゴリーに入れた方がよい。

○事務局

普通教室と同じカテゴリーになるよう表記の仕方を検討していく。

○委員

2階に体育館がある場合、特に高齢者の方がマンホールトイレを利用しづらくなる。また、マンホールトイレの数も不足しているように感じており、設置する場所についても、犯罪防止の観点から明るい場所を希望する。それらを踏まえた施設設計をお願いしたい。

○事務局

体育館の配置については、避難所の観点も含めて検討していく。

保谷第一小学校については既存校舎が北側にあるため、新校舎は南の校庭側に建設することを想定している。建替後に十分な広さの校庭を確保した上で新校舎を校庭側に整備すると、1階部分の面積が約 3,200 m²の建物になると想定している。資料4の表では、1階に黒丸をつけている部屋の面積を合わせると約4,300 m²となり、先ほどの3,200 m²よりも広くなる。そのため、1階に黒丸で表記がある部屋を2階以上に整備する必要がある。

○委員

体育館を避難所として利用する際、給食室は炊出しで使用するようになるのか。

○事務局

災害時の給食室利用については、調査研究を進めているところである。

○委員

給食室を炊出しで使用する場合、体育館と給食室は近いほうが良いと考える。

地域との交流を考えたときに、家庭科室、ランチルーム、給食室などを集約し、食べ物を扱う場所を一体的に整備することもひとつのあり方だと思う。

1階のスペースを考えた場合に、体育館を別棟として整備する選択肢は残っていないか。

○事務局

協議会の中で出た様々なご意見を参考にしつつ、先進自治体の複合化された学校の事例なども研究しながら、今後お示ししていきたい。

○委員

多目的スペースや少人数教室は一体的に整備し、ラーニングコモンズ（学校図書館＋視聴覚室）については、各学年の子どもたちがアクセスしやすい場所に整備していただきたい。

○委員

給食室の災害時の活用事例はどのようなものがあるか。

○事務局

現在調査・研究している。

○委員

これまで各地の避難所で給食室を利用した事例は、少なくとも直接調査した範囲では見たことがない。災害が起こった際に、実際に給食室を使えるか、どのようなケースがあるかを確認した方が良い。

○事務局

過去の事例を含めて確認する。

○委員

以前の会議で普通教室が 18 教室では足りないという話が出ていたが、普通教室についてどう考えているか。

また、昇降口やピロティの面積はどの程度を想定しているか。

1 コマあたりの面積を 76 m²から 72 m²に縮小することで、必要諸室を収められるようになるのではないか。

○事務局

将来的な学級数を踏まえ、教室数を算出している。引き続き学級数の見込みを注視しながら、将来の状況に応じて対応していく。

昇降口やピロティの面積については、個別の数値は設定していないが、共用部分の面積に含まれている。

1 コマの面積については、授業でタブレットを使用することも考慮し、「西東京市学校施設個別施設計画」に示している 76 m²を確保していきたいと考えている。

現時点では、諸室の詳細な配置等を決めるのではなく、建替後の学校に必要な諸室、その規模や何階に配置するかを考え方をまとめていきたいと考えている。

○委員

避難所について、ペットと一緒に避難してきた方との区分けなども考慮していただきたい。

○事務局

危機管理課の意見も聞きながら調整をしていきたい。

議題6 その他

○事務局

資料2、資料3に対するご意見は、改めてメール等でいただきたい。

本日の議事要旨はこれまでの会議と同様、後日メールで送付させていただき、委員確認後の会議で了承を得て公開する。

次回は 12 月 24 日の 10 時からを予定している。詳細については改めて連絡する。

<閉会>